

福祉と介護研究会35と申します。弊社主催セミナーのご案内をお送りさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、是非ご検討をお願い申し上げます。

また利用したいと思わせる支援を

ショートステイにおける相談援助の課題と生活相談員の役割

講師/口村 淳氏

(同志社大学社会学部嘱託講師・特別養護老人ホーム淡海荘)

主な書籍:高齢者ショートステイにおけるレジデンシャル・ソーシャルワーク・生活相談員の業務実態と援助内容の分析(法律文化社)など

開催日程

開催日/平成29年3月24日(金) 10:30~16:00

会場/岡山市民会館

(岡山市北区丸の内2-1-1)

参加費/8,000円(事前申込の上、当日お支払いください)

定員:40名(申込順にて受付)

プログラム

1. ショートステイにおける相談援助の課題とは

ショートステイの意義(長所)や構造的課題(リロケーションダメージ・レスパイトケアの二重性等)について詳しく解説します。

2. ショートステイの生活相談員の役割

予約管理、他職種との連携、事前面接、家族の理解と連絡・調整などについて、事例を交えながら解説します。

3. 支援困難事例のケーススタディ

認知症の周辺症状が著しい事例などを題材に、事例検討を行います。

4. 各事業所における問題点の情報交換

医療依存度の高い利用者の受入れ、家族との連絡・調整で苦労していることなど、日常抱えている問題点について、情報交換をしながら検討を行います。

研修のねらい

ショートステイは、制度上居宅サービスに位置付けられていますが、実際には居宅と施設の中間に位置するサービスといえます。支援者の立場からみると、多様で複雑な課題に直面することが多く、悩みを抱えている担当者も少なくありません。

この研修では、ショートステイにおける相談援助の課題を整理した上で、生活相談員のやるべき役割について、事例を交えながら分かりやすく解説していきます。

お申込みは▼ 下記にご記入の上このままFAXにてご返信ください。詳細地図等はお申しいただいた後、ご案内いたします。

・お申込み時に募集を締め切りした際は、お電話にてご連絡いたします。

・FAXの他、電話・メールでも受付しております。

※お申込み頂いた方には、受講日の一週間前までに郵送にて受講票をお送り致します。万が一、お手元に届かない場合は、受付状況のご確認をお願いします。

用紙が足りない場合はコピーしてお使いください

御社名

参加者名

参加者名

御住所(※○印をお願いします ⇒ 事業所・自宅)

〒

TEL

FAX

■主催:福祉と介護研究会35

■問合せ:盛岡事務センター 盛岡市三ツ割三丁目8-16

■電話:019-662-9488

■mail: fukuken-jim@future.ocn.ne.jp

■HP: http://fukuken.org

お申込FAX: 019-658-8029 (24H受付)

※今後FAXがご不要の方は、お手数ですがFAX番号をご記入の上、返信をお願いいたします。

□FAX不要(チェックをお願いします) FAX番号()